

サイバー犯罪被害防止を

中富良野 南富良野高生ら啓発

来場者にサイバー防犯を呼びかける南富良野高生(右の2人)と折茂代表



©北海道新聞社

【中富良野】富良野署と南富良野高の生徒たちが、サイバー犯罪の被害防止に向けた啓発活動をし、観光客でにぎわう町内の「とみたメロンハウス」で行った。

同署は15日、同校ボランティア同好会に「サイバー防犯ボランティア」を委嘱。16日に同好会のメンバー4人が署員とともに、国内外からの観光客にパソコンやスマホのセキュリティ対策を呼びかけるチラシやティッシュを配った。

生徒たちは「特殊詐欺や交通安全にも気をつけ

て旅行を楽しんでください」などと積極的に声をかけた。また、北海道警察から「サイバーセキュリティアンバサダー」の委嘱を受けるレバンガ北海道の折茂武彦代表がとみたメロンハウスの「一日店長」として訪れ、生徒たちと一緒に配ったり、来場者との記念撮影に応じたりした。

南富良野高3年の佐々木愛唯さん(18)は「人が多くて緊張したけれど、話しかけると笑顔で聞いてくれてありがたかった」と話していた。

(立木大造)